

日本共産党を代表して、議案25号、H26年度一般会計補正予算(第1号)について、反対の討論をおこないます。

議案は、小中学校併設校建設事業と市民総合体育館建替え事業の『二大プロジェクト』について、インフレスライド等の影響から補正するというものです。

わが党は、土木建設関連における深刻な後継者不足、低価格競争による零細事業者の経営難、賃金等労働環境の悪化を憂慮して、改善すべく、関係団体とともに国・県・市で粘り強く求めてきた立場ですので、インフレスライドに基づく補正増や、労務単価化の引き上げに伴う補正増について、確実に末端の労働者、孫請け・ひ孫請けの零細事業者まで行き渡らせることを前提に大いに歓迎するものですし、今補正予算における小中学校併設校のインフレスライド導入は一定やむを得ないものがあると認識しています。

しかし、小中学校併設校も、市民総合体育館建替え工事も、そもそもこの規模や内容が適正なのか、工事費が妥当なのかを比較検討する材料は何ら示されていないという、そもそも論から『二大プロジェクト』には生涯禍根を残す問題を抱えおり、今補正予算には、消極的であれ賛成するわけにはいきません。

しかも、今補正予算は市長ですら市民の納得を得られているとはいえず、「説明が必要」と答弁しているのに、議会が、委員会審査途中で質疑を打ち切っても承認していいのでしょうか。

今後、タウンミーティングや広報等で説明には、必ず「議会承認」という言葉が付いて回ります。市民がいくら批判しても反発しても、「議会承認」の一言でしょう。市長も「見切り発車というご指摘、趣旨は分かる」と答弁されるような『二大プロジェクト』の非を議会がこうむることになってしまいます。以下3点、議員各位に提起したい。

第1に、『二大プロジェクト』の総事業費は、市民に初めて知らされた163億8千万円からとうとう190億4千万円まで跳ね上がりました。H23年の設計業務委託を含めれば今議会の段階で193億1千万円です。児童生徒の大会派遣費100万円の予算増額に苦慮していることと比較すればあまりにも差があります。しかも、「さらに事業費は増大する」と副市長も認めました。『二大プロジェクト』の借金返済は、国の機関が自治体の約半数が『消滅する』とした2040年直前の2039年まで続きます。小中学校併設校建設だけでも増額分あれば、江戸川台小学校の老朽校舎は建替えできる経費分であることを教育委員会も否定していません。国庫補助金も2億6850万円もの大幅減額に直面した今、市民の血税を使わせていただく痛みを感じ、国庫補助頼み、見切り発車の『二大プロジェクト』に大胆にメスを入れるチャンスを逃していいのでしょうか、お考えいた

だきたい。

第2に、今補正予算には、ボーリング調査が十分にされず、残土及び産廃処分経費として新たに5349万2400円が追加されました。昨年5月の臨時会でも南消防署建設事業で、3日間のできるボーリング調査をせず、近隣公共施設の地盤調査で簡易診断した結果、103日間の工事期間延長と、2436万円の経費が余分にかかったばかりです。昨年の市民総合体育館建設特別委員会では陸上競技場の軟弱地盤を心配し、ボーリング調査の必要性が繰り返し質問されました。これらの経緯を受けても、支持基盤さえわかればいいからと、施設中心部等のボーリング調査は必要なし、がらや残土処理は「想定外」という姿勢を見過ごすことが議会の責務でしょうか。いま多くの市民は、横浜のマンションで基礎が支持基盤まで到達せず、ひずみが生じていることに、大きな関心を広げているさなか、市民の税金で補てんすれば問題なしという行政風土に議会まで染まっているのでしょうか。しかも、体育館建設にともなう市とUR都市機構による設計業務委託はH23年10月6日5900万円だったものが、H24年3月5日には4450万円に約1500万円も減額されています。行政をチェックすべき議会自らが、委託費減額がボーリング調査の削減につながった恐れはないのかという調査すらせず、議会承認を急ぐ姿勢は自殺行為ではありませんか、お考えいただきたい。

第3に、相次ぐ先議案の審査をいいことに、補正増の詳細な資料は審査前に提出されず、審議時間が伸びたり、がらの大きさも量も「若干」の一言、写真を要求されれば2か月も前のもの、残土処分費の詳細内訳も休憩を取らなければ議会に示せない…あまりにも議案提出の重みが薄れているのではありませんか。みどりの課の体制強化を市長に求めるとともに、「どうせ認めてくれる」「その場だけしおらしくすれば…」と議員の足元をみられているなど私は実感しました。市財政への影響、事業費のことを若干でも憂慮し、いまの市政の進め方に反感や異論、疑義が若干でもあれば、見直すべき点は見直すべき時期に大胆に見直そうではありませんか。市民総合体育館はまだ基礎をつくっただけですから、いまなら段階的整備も利用内容に応じた軌道修正も意匠の変更も間に合います。この先議は後日提出される追加議案と対のものです。議員各位が良心を発揮していただくよう求め、討論を終わります。